

田代の郷ガイドブック作成業務について

要 旨：平成 8 年から令和 3 年までの 26 年間かけて続いてきた「田代地区猛禽類等調査業務」の終了にあたり、田代地区における開発の経緯、猛禽類、植生の観察状況を紹介して、島田市民が田代地区の歴史や自然に興味を持ち、学ぶための資料となるようなガイドブックと、田代地区の学習の入口として対象を問わずに配布可能なパンフレット（概要版）の二種類を作成します。

計 画：令和 4 年度中に原稿データを完成させ、令和 5 年に印刷業務を行います。

予算規模：令和 4 年度・・・1,472 千円

令和 5 年度・・・未定（ガイドブック 100 部、簡易版 1,000 部予定）

仕 様：

1. ガイドブック

(1) サイズ A 4 版（一部ページは A 3 折込） 概ね 100～130 ページ程度（表紙・裏表紙別）

(2) 色 数 4 色

(3) 記載項目

- 1) 歴史 新東名高速道路の開発現場となるまでの歴史について
- 2) 地形 田代地区の地形図（現在、開発前）
- 3) 施設 田代環境プラザ、伊太和里の湯など各施設の簡単な紹介
- 4) 自然環境 気候、地形、地質、土壌、植生
- 5) 動物
- 6) 植物
- 7) 自然生態系 改変前、改変中、改変後の自然生態系の変化
- 8) 保護対策 開発時に行われた水路の近自然型工法や植物注目種の移植などの対策と、その結果
- 9) 資料 ガイドブック作製時に使用した主な元データ、一次資料を掲載。
- 10) 用語集 専門用語の索引

2. パンフレット

(1) サイズ A 2 版 両面 2 ページ（A 5 版または A 6 版サイズに折りたたむ）

(2) 色 数 4 色

(3) 記載項目 表面：歴史・動植物・保護対策の内容の概略や野外観察で気付いたことのメモ欄など
裏面：全面に田代地区の全体マップをつけ、折りたたんで持ち歩けるものにする。

「田代の郷」ってどんなところ？

「田代の郷」は、新東名高速道路のトンネル工事の埋め立て地につくられた、いろいろな施設が設置してあるところです。埋め立て工事は平成18年から始まり、令和2年に終了しました。



島田市田代環境プラザ
(2006.4～)



島田市温浴施設
伊太和利の湯
(2009.12～)



ソーラーパーク
くしまだ
(2014.1～)



市営伊太霊園
(2016.7～)



島田ゆめ・みらいパーク (2020.3～)

この「田代の郷」は、埋め立てられる前は、山に囲まれた広い盆地で7軒ほどの家のほか、田んぼや神社がある集落でした。



田代地区 1997年工事前



田代地区 2004年埋め立て工事中

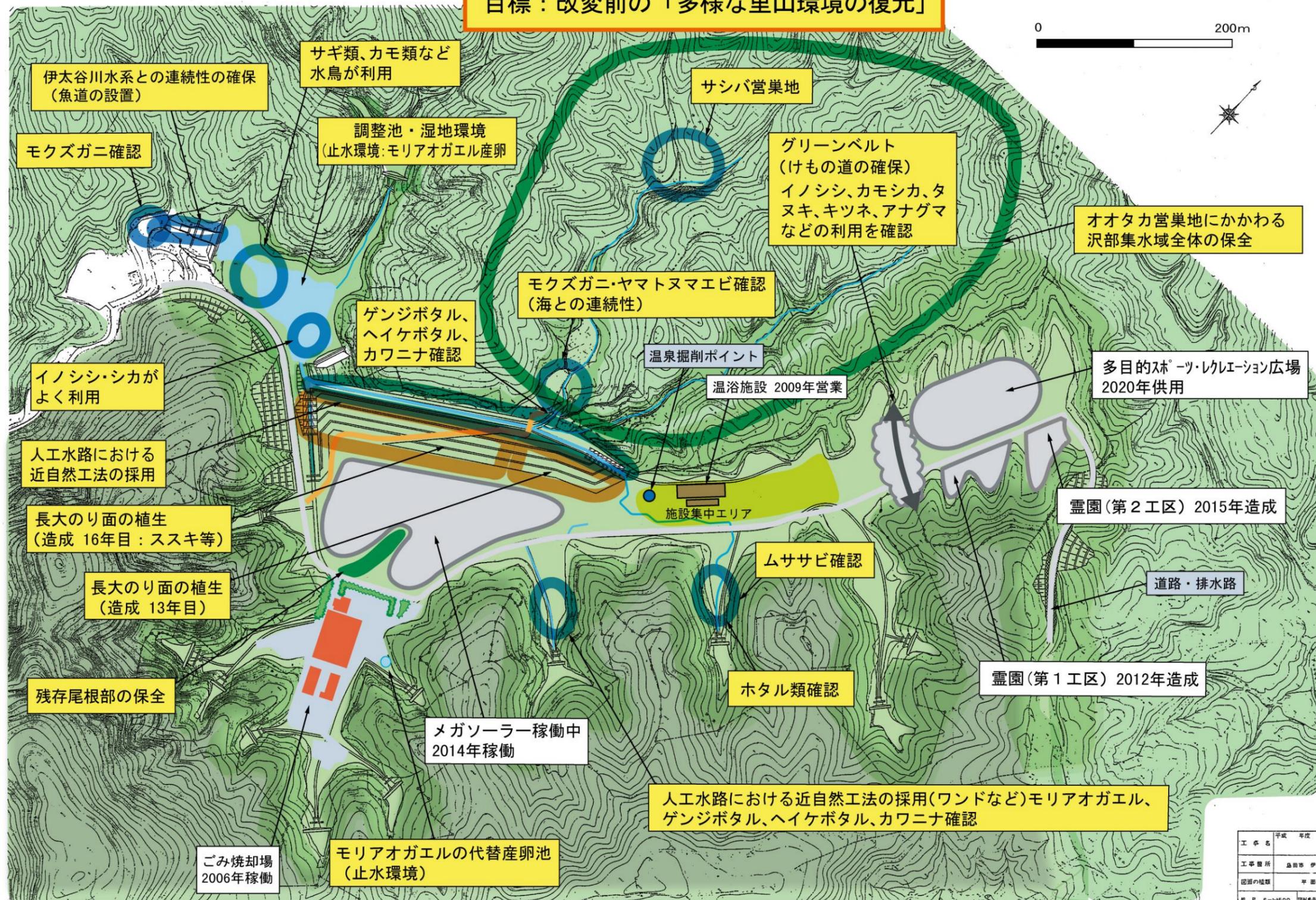
ところが、埋め立て工事をしている途中、絶滅危惧種のクマタカが巣をつくってヒナを育てているなど豊かな自然を持っていることがわかり、「自然を守ろう」という気持ちが高まりました。



そこで、いろいろな人たちが話し合っ、裏面のようになさまざまな工夫で自然や生き物を守りつつ「田代の郷」を作っていこうとしてきました。2021年までの毎年の調査では、多くの野鳥や植物が確認できています。



目標： 改変前の「多様な里山環境の復元」



0 200m



工事名	平成 年度
工事箇所	山形県 伊太 地内
図面の種類	平面図
縮尺	S=1:500 図面番号 第1
調査年月日	図面年月日
事務用名	

注) 当該地域の道路排水施設などに用いる側溝は、小動物が這い出し可能なタイプ (L字型、V字型など) を採用

図IV.3.1 工事の内容と自然環境保全対策